

高知リハビリテーション学院紀要 投稿規定

1. 内容

理学療法・作業療法・言語聴覚療法とその関連分野，および専門職の養成・教育に関する未発表のものに限る。

- 1) ヒトを対象とした研究は「ヘルシンキ宣言」の精神に基づき，厚生労働省告示「臨床研究に関する倫理指針」に沿ったものであること。
- 2) 動物実験は，「動物実験の飼育および保管等に関する基準」等を遵守して行われたものであること。

2. 種類

総説，原著，報告，症例報告，短報等，紀要編集委員会が適当と認めたものとする。

3. 投稿資格

下記のいずれかに該当する者とする。

- 1) 本学院の職員
- 2) 本学院の卒業生
- 3) 本学院の職員と共同研究を行っている者
- 4) その他，編集委員会が適当と認めた者

4. 論文の採否・掲載について

- 1) 論文の採否は高知リハビリテーション学院紀要編集委員会で決定する。
- 2) 審査の結果によっては，修正・削除・加筆などを進言することがある。

5. 投稿要領

- 1) 総説，原著，報告および症例報告は要旨，図表，文献などを含め，原則として刷り上り10頁（1頁は400字詰原稿用紙3枚相当）以内，短報は5頁以内とする。
詳細については，投稿書式を参照すること。
- 2) 論文には，論文題目，著者名，所属，および連絡先を，日本語および英語で記載した表紙をつける。著者の所属が異なる場合は，氏名の右肩に1)，2)，3)のように記し，所属をその番号順に記載する。
- 3) 論文には，内容の要点が理解できるように800字以内の和文要旨と原著論文には300語以内の英文サマリーを付し，それぞれの下に3～5個のキーワードを記す。
- 4) 論文の構成は，原則として「はじめに（緒言，序論）」「目的」「方法」「結果」「考察」「結論」「文献」を含む。
- 5) 項目分けの要領としては，「はじめに」「目的」「方法」「結果」「考察」などの表記に続いて，以下の順に使用する。
1，2，・・・，1)，2)，・・・，(1)，(2)，・・・，①，②，・・・
- 6) 図（写真）・表の記載方法については，図（写真）の下に「図1」，表の上に「表1」の番号を付け，A4判用紙1枚ずつに図あるいは表1枚を収めるようにし，本文とは別に一括する。
- 7) 文献は，本文の引用箇所の肩に1)，1，2)，1-4)などのように番号で示し，本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。
- 8) 文献の記載方法は，下記の例を参考にする。

雑誌の場合は，著者氏名，論文題目，雑誌名，巻，号，頁（最初—最終），西暦年号の順に書き，単行本の場合は著者氏名，書名，編集者名，発行所名，発行地，年次，頁を記載する。文献の省略は公の省略

法に従う。引用文献の著者氏名が3名以上の場合は最初の2名を書き、以下は・他または et al とする。

[例]

- 1) 小室 透, 間瀬教史・他: 片麻痺の運動時皮膚温変化. 理学療法学18(1):5-11, 1991.
- 2) Hulme JB, Bach BW, et al.: Communication between physicians and physical therapists. Phys Ther 68 (1): 26-31, 1988.
- 3) 千野直一: 臨床筋電図・電気診療学入門, 医学書院, 東京, 1977, pp102-104
- 4) Desmedt JE, Godaux E: Progress in Clinical Neurophysiology. (ed. By Desmedt JE), Vol.8, Karger, Basel, 1980, pp215-242
- 5) <http://www.who.int/classifications/icf/site/icftemplate.cfm> (参照 2007-05-19)
6. 英文は、著者の責任で専門家のチェックを受けること。
7. 引用・転載の許可
原著作物からの引用・転載については、著作権保護のため、原出版社および原作者の許諾を得ること。
8. 投稿書式
 - 1) 用紙はA4判縦で、横書きとし、余白は左25mm, 右40mm, 上30mm, 下25mmとする。
 - 2) 和文は10.5ポイント文字, 1行40字, 30行(1頁1200字), 英文は10ポイント文字, ダブルスペースを標準とする。
 - 3) 句読点は、「 , . 」を用いる。
 - 4) 本文の最下段中央に頁番号を記す。
 - 5) 本文のテキストファイル形式データ, 図表データをフロッピーディスク, CDに保存したものを原稿に添付する。ラベルには、筆頭著者名, 保存ファイル名, フォーマット形式, 使用アプリケーションソフト名を記載する。
 - 6) 原稿提出部数は3部とする(うち2部はコピーで可)。
9. 著作権
 - 1) 本誌に掲載された著作物の著作権(著作権法第27条および第28条を含めた全ての権利)は高知リハビリテーション学院に帰属する。
 - 2) 翻訳・翻案・ダイジェストなどにより二次的著作物を作成して頒布すること, および第三者に転載を許可する権利は高知リハビリテーション学院に帰属する。
 - 3) 当該論文を再利用する場合には, 高知リハビリテーション学院紀要編集委員会まで連絡のこと。
 - 4) 掲載された論文等は, 原則として電子化するものとし, 高知リハビリテーション学院リポジトリにて保存しコンピューターネットワーク上に公開する。

本紙への投稿, 編集や出版に関する問い合わせは, すべて下記宛とします。

高知リハビリテーション学院

紀要編集委員会委員長 山崎 裕司

電話: 088-850-2311

FAX: 088-850-2323

2009年3月
紀要編集委員会